

寛政4年(1792)島原大變による有明海の津波についての近年の成果

ナマズ博士が教える！過去の記録・古文献史料から探る～島原市における地震と津波の危険性は？～

2011年3月11日、マグニチュード9.0の東北地方太平洋沖地震が発生しました。この千年に一度ともいわれている巨大地震の津波は、東日本の沿岸地域における住民の生活・資産をはじめ、土木・建築構造物、あらゆる産業に大きな爪痕を残しています。そこで本講座では、災害に負けない強い企業づくりを支援するため、今こそ考える目の前の災害リスクや災害が発生したときの対処方法、事前に準備しておくべきこと等について、元東京大学地震研究所の都司嘉宣氏を迎えて、分かりやすく解説します。この機会に奮ってご参加ください。



講師

建築研究所 特別客員研究員
元東京大学地震研究所 准教授

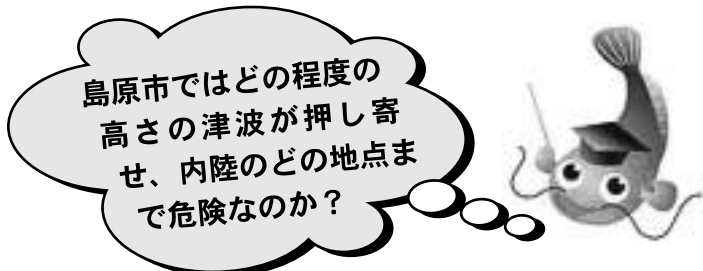
都 司 嘉 宣 氏 [つじ よしのぶ]

プロフィール

1947年奈良県生まれ。東京大学理系大学院地球物理学専攻修士修了、1982年理学博士。1994年から、東京大学地震研究所にて、長年にわたり、19世紀末までに発生した地震や津波を主とした古文献史料に基づいて研究している「津波と歴史地震学」研究の第一人者。東海沖、南海沖で周期的に起きている巨大地震の解明にも力を入れている。准教授を経て、2012年同大学同所を定年退職。現在は、建築研究所特別客員研究員、筑波大学理学部非常勤講師を務める。東日本大震災時には、連日マスメディアにて地震・津波の解説を担当した。

講座内容 企業経営とは、常にリスクとの戦いであるリスクに備えるために、今こそ「BCP」の策定を！

- ◆ 東日本大震災から学ぶ
どのような地震だったのか
その時、企業はどのように対応したのか
- ◇ 島原市における津波の危険性は
- ◆ 危機管理の基本とBCPの考え方
取組意義、BCPの全体像と策定の流れ
- ◇ 自社の防災チェックと対応策 ほか



※ 最新情報をご提供するため、内容の一部が変わることもあります。ご了承ください。



日時 平成24年12月12日(水) 13:30～15:30

会場 島原市 ホテル 南風楼

受講料 無料 **定員** 50名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

主催 社団法人 島原法人会

島原市新湊1丁目32-1 第3マルデンビル2F-C [TEL 0957-62-7025]

※お申込はこのまま **FAX 0957-64-0527** にてご返信下さい。

※申込締切日：12月5日(水)迄

「危機管理・BCPセミナー」受講申込書

事業所名		TEL	
所在地		FAX	
受講者氏名	(名)		

※ご記入いただきました情報は、当法人会からの各種連絡・情報提供にのみ利用させていただきます。
※当法人会から連絡が無い限り、受講可能ですので、当日は直接会場へお越しください。